

平成23年度 第5回 地域力創造セミナー 講師一覧

別紙 2

	氏 名		実 績 等
基調講演	畠中 智子 〔はたけなか ともこ〕	 高知のまちづくりを 考える会 代表	<p>20年前に生活者の目線でまちづくりを語り進めていく「高知のまちづくりを考える会」を発足。ワークショップの手法を学びつつ実践を繰り返し、豊富な現場経験だけを武器に各地の参加型事業のお手伝いに出向いている。</p> <p>約10年間関わった高知県赤岡町（現香南市）のまちづくり活動や「四万十とおわ道の駅」の商品開発をはじめとして、県外では石川県七尾市・青森県大間町・三重県熊野市・岡山県笠岡市・長崎県長崎市など各地で誰もが参加しやすい話し合いの場をデザイン。地域に、地元、「誇り」を生み出すワークショップを通じて住民主体のまちづくりや特産品づくりにつなげている。</p>
リレー セッション1	鞍打 大輔 〔くらうち だいすけ〕	 NPO法人 日本上流文化圏研究所 主任研究員	<p>早稲田大学理工学部建築学科在籍中から山梨県早川町の活性化と河川上流域の未来を考えて行動する中間支援組織「日本上流文化圏研究所」の運営に携わり、大学院修士課程修了後、平成11年に早川町に1ターンし同研究所に就職。</p> <p>地域資源を掘り起こし発信する情報紙「やまだらけ」の編集発行、地域資源を活用した新しい特産品の開発、地域住民が取り組むコミュニティビジネス等をバックアップする「あなたのやる気応援事業」、インターンとしての大学生の受入や早川町をフィールドとした調査研究奨励などを実施。また、そば打ち、味噌仕込みといった地域の生活文化を観光資源として活用する着地型観光の推進、小規模集落へのボランティアのコーディネート等のサポートも展開している。</p>
リレー セッション2	砂田 光紀 〔すなだ こうき〕	 オフィスフィールド ノート 代表取締役	<p>博物館学芸員を経て現在、各地のミュージアムや公共空間地域づくりを統括プロデュースする「オフィスフィールドノート」を主宰。</p> <p>廃校となった都心の小学校を再生し、「東京おもちゃ美術館」として活用するプロジェクトに総合プロデューサーとして参画し、計画・デザイン・設計製作を一貫して行い、成功に導いた。また、存続の危機にあった肥薩線では、歴史的価値を活かし、「百年レール肥薩線活用プロジェクト」をJR九州に提案して観光路線の基盤をつくるなど、地域遺産や遊休施設を新しい地域資源に育てる取組に従事。昨年度「地域力創造アドバイザー」として派遣された鹿児島県長島町では、「古い公共施設」を地元の素材や技術を活かしつつ、リ・デザイン。地域で運営する施設づくりを推進している。</p>